

# 宮津市廃棄物減量等推進審議会（第2回全体会） 会議記録

日 時：令和5年10月26日(木) 午前10時00分から11時40分まで

場 所：宮津市福祉・教育総合プラザ4階 第4コミュニティルーム

出席者 ※敬称略

○委員（一色立雄、粉川正太郎、黒岡芳子、矢野順子、笠井裕代、小畑晴美、松田高正、谷口政史、小西均、山川 肇（会長）、谷口知弘）

○オブザーバー（居村 真）

○事務局（山根部長、廣瀬課長、大和係長、井上主査）

欠席者 ※敬称略

○委員（中西幸子、古橋由季、小谷美穂、幾世健史、岩崎靖之、片山禎彦）

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 報 告

(1) 令和5年7月7日開催の宮津市廃棄物減量等推進審議会 第1回全体会の会議結果について

(2) 令和5年7月25日開催の宮津市廃棄物減量等推進審議会 第1回し尿手数料検討部会の会議結果について

(3) 令和5年9月6日開催の宮津市廃棄物減量等推進審議会 第2回し尿手数料検討部会の会議結果について

**【資料1～3に基づき事務局より報告】**

## 4 議 事

(1) 審議会の開催経過・予定[令和5年度]について **【資料4に基づき事務局から説明】**

(2) し尿処理手数料の見直しについて **【資料5及び資料6に基づき事務局から説明】**

### (審議内容)

#### **委員**

資料5の15ページを見ると、簡易水洗の世帯ではかなり負担増となるが行政としてはどう考えているか。

#### **事務局**

簡易水洗は普通便槽に比べ約2倍のくみ取り量になると認識しているが、市としてはそういう方には積極的に浄化槽に転換していただきたいと考えている。補助制度も設けている

ので、既存の支援策の周知を十分に行うとともに、個別事情で浄化槽の設置が困難な方には個別に相談のっていきたい。

#### **事務局**

し尿手数料検討部会で意見をまとめていただいた「生活弱者に対しては福祉施策等による配慮を検討されたい」という部分は、答申案の2（2）の項目で、（福祉施策による配慮という文言ではなく、）「料金の設定については、生活弱者に配慮すること」という文言を入れる形で反映した。

配慮の内容としては、与謝野町と京丹後ではそれぞれ1800、2000に最低料金を設定しているが、宮津市では一人世帯に過度な負担とならないよう、540に最低料金を設定することを検討している。

#### **委員**

生活弱者に対しては既存の福祉施策等による総合的な支援が行われている中で、各種の料金の見直しに当たり、個別に福祉施策を検討するのは適当でなく、既存の福祉施策等も含めた全体で総合的に考えればよいと思う。

#### **事務局**

昨今の経済情勢・値上げ等の状況の中で、今年度年金額と生活保護の基準額が引き上げられた。また、現在、国において所得税の減税や非課税世帯への給付金も検討されている。このように全体で対応がなされている中、し尿処理手数料だけで福祉施策を検討するのではなく、過度な負担とならない最低料金の設定というところで配慮していきたい。

#### **委員**

部会で議論を続けてきたが、安定的にし尿処理の行政サービスを継続していくために、料金の見直しは致し方ないという結論だった。

ただ、見直し時期がこの物価高の時期に重なるというのは、この10年間適切な時期に見直しすることを怠ってきたため。市民生活への影響が最小限となるよう、今後は早めに市民に状況を伝え議論していく必要がある。10年先を見据え、安定的に運営するという視点、また、市民に負担を極力かけないという視点を持っていただきたい。

#### **会長**

具体的な手数料の数字等については行政判断のもと提案されるが、審議会の答申としてはこの内容でよいか。⇒異議なし

### (3) 宮津市資源循環の促進等に関する基本的な指針について

#### 【資料7・8に基づき事務局から説明】

#### (主な意見等)

##### 委員

- ・ごみ袋を値上げすればごみを少しでも減らそうという意識につながるのでは。
- ・自治会の取組にもつながるので具体的に分別を推進すべき品目について教えてほしい。
- ・作業所等の集団回収拠点の利用や雑紙の分別を促進していくべき。

##### 委員

- ・大江山の不法投棄被害が深刻だが、そうした陸上のごみが流出し海洋プラスチックごみとなる。海岸だけでなく陸上の不法投棄対策も重要。
- ・徳島県の上勝町は45種を超える分別をしている。宮津市も参考にしてはどうか。

##### 委員

- ・地元地域では当番制でごみステーションを管理しており、住民の分別の理解に役立っている。
- ・生ごみをコンポスターでたい肥化し、農作物を作っている方がいるが、とてもよい作物ができる。
- ・プリント等の雑紙は資源回収に出すことができる大切な資源。

##### 委員

- ・福祉施設の食事提供時の使い捨て食器を紙製食器に変えた。
- ・生ごみを堆肥化して施設の傍の畑で肥料として利用する取組を少しずつ始めている。
- ・高齢者の分別の問題については、今後地域ぐるみの取組が必要と感じている。

##### 委員

- ・指針の各施策の内容は分かり易いが、書き方のトーンについて少し整理が必要。
- ・1-6-1の事業所での廃棄物の発生抑制の部分は、より事業者の発想の転換や工夫に結び付き易い書き方を検討してはどうか。

##### 委員

- ・給食調理をしているが、警報等で休校になると不要の給食が発生する。市の指示による廃棄であり、事業者としても工夫の余地がない。調理前に休校を決定するなど、食品廃棄を減らす仕組みにできないかと考えている。

##### 委員

- ・内容は分かり易いと思うが、今後どのように市民や事業者に周知していくかが課題。
- ・分別は重要だが、厳しくなりすぎると事業者としては負担がかかる。

## 委員

- ・4-1-1で「バイオマスプラスチック等の再生可能な資源への転換を検討」とあるが、バイオマスプラスチックは原料に自然素材のものを使っているという意味と理解しており、再生可能というのは少し違和感がある。

## 委員

- ・旅館組合では再生プラスチックの歯ブラシのサンプルを会員に配布し、継続して採用するよう働きかけている。
- ・所属ホテルではビニールに入ったフェイスタオルをリネンに変更した。その他にもお茶のパックや浴衣等のアメニティの配置について工夫をしている。
- ・各部屋の分別ごみ箱の設置を検討している。

## 委員

- ・3Rの中でも排出抑制が最も重要でその次にリサイクルという順序のため、1（1）の指針の趣旨に廃棄物の排出抑制についてしっかり書き込むべき。
- ・市民等に基本指針の取組の意識づけを行う上で、給水スポットの設置など目に見える取組や重点的な広報等を行ってはどうか。

## オブザーバー

- ・宮津与謝クリーンセンターでも将来的に製品プラスチックのリサイクルに取り組みたい。
- ・ごみとしてクリーンセンターに持ち込まれる前に、いろんな形で資源化を図ってほしい。

## 会長

- ・多くの施策があるので重点項目をピックアップした方が分かり易いと思う。その点について会長と事務局で相談し整理したいがどうか。⇒異議なし

### (4) その他

- ・大型ごみの個別収集について【当日配布資料1に基づき事務局から説明】
- ・宮津市内ホテルの協力による分別用ごみ箱設置の実証事業について  
【当日配布資料2に基づき事務局から説明】
- ・上宮津地域の不法投棄回収事業について【スライド資料により紹介】

## 5 閉 会